学校番号	２１２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史演習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	共通テスト実力トレーニング世界史（九歴協編集委員会編、啓隆社） アカデミア世界史（浜島書店編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史演習はその名のごとく世界史について演習をしていきます。歴史の学習は、人名や歴史用語をただ単に丸暗記するだけではありません。もちろん、“覚える”という動作が不必要だという立場には一切たちません。“覚えなければならないこと”は多分にあると理解してください。我々が生きている社会で今まさに起こっている戦争をはじめとする世界の諸課題の原因を理解するためには各国の歴史を知り、その国の立場を理解することではじめてスタート地点に立てると思います。また、一方的な立場だけでなく複数の立場や意見を踏まえることも非常に大切です。これまでに歴史を学習してきた見方、考え方を活用して、学習に取り組んでください。その学習が世界史を科学することに繋がります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史総合や世界史探究で得た知識や技能を用いて、テーマに即して歴史的事象を見直し、考察する技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史事象を考える資料を適切に吟味したうえで、その原因や影響などを幅広く考察し、それを簡潔・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
豊富で正確な情報に基づいて考察しようとする姿勢、これまでの歴史的事象の解釈を理解し時代背景を的確に想像する姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、世界の歴史を総合的に探究および科学するための必要な知識を身に着ける。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。世界史を学習するにあたって、見通しを持って学習に取り組み、演習を通して、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	演習Ⅰ	演習Ⅰ 世界史へのまなざし 諸地域の歴史的特質の形成 諸地域の交流・再編 　文明の成立から近世ヨーロッパ世界の動向まで	a:世界史を科学する上で必要となる知識を身につけている。 b:世界史の知識を活用して諸事象について考察し、問いを表現している。 c:世界史を学習するにあたって、見通しを持って学習に取り組もうとしている。また、演習を通して、自らの学習を調整しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	成果物 ワークシート
2学期	演習Ⅱ	演習Ⅱ 諸地域の統合・変容 地球世界の課題 　産業革命から冷戦の終結・今日の世界まで	a:世界史を科学する上で必要となる知識を身につけている。 b:世界史の知識を活用して諸事象について考察し、問いを表現している。 c:世界史を学習するにあたって、見通しを持って学習に取り組もうとしている。また、演習を通して、自らの学習を調整しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 ワークシート
3学期	演習Ⅲ	演習Ⅲ 地球世界の課題の探究 現代文明の諸相	a:世界史を科学する上で必要となる知識を身につけている。 b:世界史の知識を活用して諸事象について考察し、問いを表現している。 c:世界史を学習するにあたって、見通しを持って学習に取り組もうとしている。また、演習を通して、自らの学習を調整しようとしている。	振り返り	振り返り	振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度